

別表1

12. 学問の方法論(10単位)

(1) プログラムの目的

現代は「VUCAの時代」「予測困難な時代」などで表現されており、これまで想定されていなかったような様々な課題に取り組む必要がある。こうした時代では、所属する学部・学科や学問分野の専門性を高めるだけでなく、他領域における考え方、概念、方法論を身につけておくことがのぞまれている。本プログラムでは学問分野を横断的に学ぶことで、課題の背景や構造を言語化し、課題解決へのアプローチを設計する力を養うことを目的とする。

(2) プログラムの学修到達目標

- ① 様々な学問分野で用いられている基本的な概念を理解している。
- ② 問題の背景や構造について情報を集めて言語化することができる。
- ③ 課題解決へのアプローチを多面的に提案できる。

(3) 履修資格

- 一 令和6年度以降に入学した者

(4) 履修手続

本プログラムを履修する者(以下「履修者」という。)は、次の各号の申請・提出により、履修手続きをしなければならない。

- 一 本プログラムの履修申請
- 二 その他本学が必要と認める書類

(5) 修了要件

次の要件をすべて満たすこと。

- 一 所属する学部・学科等の卒業要件を満たすこと。
- 二 本プログラムの対象科目を10単位以上修得しているものであること。
- 三 対面で行われるスクーリング授業を受講すること。

(6) 履修証明書交付要件

次の要件をすべて満たすこと。

- 一 2年次以上の学生であること。
- 二 本プログラムの対象科目を10単位修得済み、又は履修中であること。

(7)構成する授業科目及び履修方法
次の履修表により履修すること。

履修表(令和6年度以降入学生用)

科目区分		分類	授業科目名	指定科目	単位数	必修	選択
全学基礎教育科目	教養育成科目群	コア科目	クロス教育基礎論		2	2	
	島大STEAM科目群		数理・データサイエンスへの誘い		2	2	
		教養育成科目群	選択科目	問題解決の進め方(放送大学)	★	2	
放送大学	導入科目	人文地理学からみる世界(放送大学)			2		
	導入科目	総合人類学としてのヒト学(放送大学)			2		
	導入科目	日本語学入門(放送大学)			2		
全学基礎教育科目	教養育成科目群	選択科目	社会と産業の倫理(放送大学)	★	2		2
	教養育成科目群		市民自治の知識と実践(放送大学)	★	2		
放送大学	導入科目		西洋哲学の根源(放送大学)		2		
	導入科目		世界文学への招待(放送大学)		2		
全学基礎教育科目	教養育成科目群	選択科目	自然科学はじめの一步(放送大学)	★	2		2
	放送大学		基盤科目	初歩からの数学(放送大学)			
導入科目			現代を生きるための化学(放送大学)		2		
合 計							10

※ 履修表中の★は放送大学の指定科目の履修に関する運用方針に定める指定科目を示す。

※ 令和7年度以前に「問題解決の進め方」、「社会と産業の倫理」、「市民自治の知識と実践」及び「自然科学はじめての一步」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。